

令和2年度 年間教科シラバス

中学・高校	高 校	学年	3 年	コース	
教 科	英 語	科 目	英語表現Ⅱ		単位数 2
担当者	A 豊見山	B 日下部	C 山内	D 森	
教科書	三省堂 MY WAY English Expression Ⅱ		副教材	英単語 VALUE 1700	

○学習到達目標

「聞くこと」、「話すこと」、「読むこと」及び「書くこと」の4技能の総合的な指導を通して、これらの4技能を総合的に活用できるコミュニケーション能力を育成するとともに、タブレット端末を用いて独自に収集した情報や考えなどを的確に理解したり適切に伝えたりする能力を伸ばす。
また高校二年生までに学習したものを確実に理解させ、高校英語の基礎的な文法、単語、熟語を身につける。

○教科道徳教育到達目標

外国語を通じて、コミュニケーション能力を養い、異文化に興味を抱くとともに、国際社会に生きる日本人としての自覚を育み、日本人としてのアイデンティティを育成する。

○学習方法

- ・ノートの作り方を徹底させ、自分独自の参考書となるよう指導する。
- ・教科書の文法内容を理解し、その内容を自分自身のことを表現するときに使用できるよう練習する。
- ・「生徒の身近な暮らしや社会」・「学校での学習や活動」で使われる簡単英語での会話表現を用い、授業の中で活用し理解させる。
- ・スペルと発音が一致するまで何度も声に出して練習する。
- ・英語のアプリを活用して、日々の家庭学習や弱点克服の徹底を図る。

○グレード別授業の基準

- A: 難関大学入試に重点を置き、校外模試で結果を出す。
B/C: 大学入試、英検取得や校外模試の対策に重点を置き、語彙力・読解力を培う。
D: 基本単語や暗唱例文の定着を図り、自ら進んで語威力を磨くよう学習習慣を身に付ける。

○評価方法

各学期ごとに、期末考査・ルーブリック評価を行い、学期成績を算出し、すべての学期成績の平均を学年成績とする。
(期末考査50% ルーブリック評価50%)
※ルーブリック評価観点表は別紙参照

○指導計画

学期	月	学習内容	学期	月	学習内容	学期	月	学習内容
1	6	時制	2	9	比較・関係詞	3	1	入試対策
	7	助動詞・受動態		10	仮定法・話法		2	入試対策
	8	不定詞・動名詞・分詞		11	重要構文		3	
				12	入試対策			

評価項目	評価段階	備考	A	B	C	D
	関心・意欲・態度	授業準備		与えられた課題に対し、分からない単語・表現をきちんと調べた上で、期限内に提出できている。	与えられた課題を期限内に提出できている。	与えられた課題を、期限後ではあるが提出できている。
授業中			各活動に積極的に参加し、分からないところがあれば質問、または調べたりしながら理解につなげようとしている。	授業中の各活動に参加し、理解しようとしている。	授業中の各活動への取り組み方が物足りない。理解しようという姿勢が乏しい。	授業中の各活動に全く取り組んでいない。
外国語表現の能力	話す		聞き手を意識して、準備したスクリプトを見るのを最小限に抑え、相手と目線を合わせながら聞きやすいスピードと発音で発話できている。	準備したスクリプトを見ながら、聞きやすいスピードと発音で発話できている。	準備したスクリプトを見て発話する中で、何度も途切れるため、聞き手にとって聞き取りにくい。	スクリプトを見ながら発話する中で何度も途切れ、また時々表現を飛ばしたりするため、内容が全く伝わらない。
	書く		・綴り、文法ミスをも最小限に抑え、分かりやすい英文を書くことができる。 ・正しい書式に沿って、内容の一貫したまとまりのある英文を書くことができる。	・綴り、文法ミスが目立つものの、意味が伝わる英文を書くことができる。 ・正しい書式に沿ってはいるが、内容の一貫性に乏しい。	・綴り、文法ミスが多く、英文の意味が伝わらない。 ・正しい書式に沿っておらず、内容も伝わらない。	英文を書くことができない。
外国語理解の能力	読む		まとまりのある英文を読み、その内容に関する質問に8割以上答えることができる。	まとまりのある英文を読み、その内容に関する質問に6～7割程度答えることができる。	まとまりのある英文を読み、その内容に関する質問に3～5割程度答えることができる。	まとまりのある英文を読み、その内容に関する質問に2割程度までしか答えることができない。
	聴く		まとまりのある英文を聴き、その内容に関する質問に8割以上答えることができる。	まとまりのある英文を聴き、その内容に関する質問に6～7割程度答えることができる。	まとまりのある英文を聴き、その内容に関する質問に3～5割程度答えることができる。	まとまりのある英文を聴き、その内容に関する質問に2割程度までしか答えることができない。
言語や文化についての知識・理解			各レッスンで学ぶ文法内容を理解し、正しく使ったり説明したりすることができる。	各レッスンで学ぶ文法内容をある程度理解し、英作文ではミスがあるものの、並び替え問題のようなヒントがある問題であれば正解を導くことができる。	各レッスンで学ぶ文法内容をあまり理解できておらず、英作文には全く対応できない。並び替え問題のようなヒントがある問題でも、正答率は50パーセントほどである。	各レッスンで学ぶ文法内容が全く理解できておらず、どのような形式の問題であっても対応できない。